



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2010. 5月号

新館長 ごあいさつ



このたび平塚市博物館の第14代館長に就任いたしました、^{がんひろみち}鷹宏道です。

私と、博物館を通じてみなさんとのつながりが始まったのは、博物館が開館したのと同じ日、1976年5月1日に天文担当の学芸員として採用されて以来のことです。プラネタリウム、特別展、コンサート、星を見る会、天体観察会、太陽の観測、日食や月食、しし座流星群、ハレーすい星、火星大接近、・・・、さまざまな天文イベントを通して皆さんと接してまいりました。そこには多くの方々との楽しい出会いがありました。多くの子供たちが博物館で育っていくのを見守りました。そして仲間同士の交流があちこちではじまりました。

博物館は平塚を中心とした相模川流域の歴史、文化、自然を市民の皆さんと一緒に調べ、未来に記録していく場でもあります。過去から現在、そして未来へ、未来に生きる平塚市民への記憶のたすきリレーを楽しむ、そんな楽しい場です。そうした環境をより快適に、新しい発見、新しい出会いの場になるよう、努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

小惑星探査機

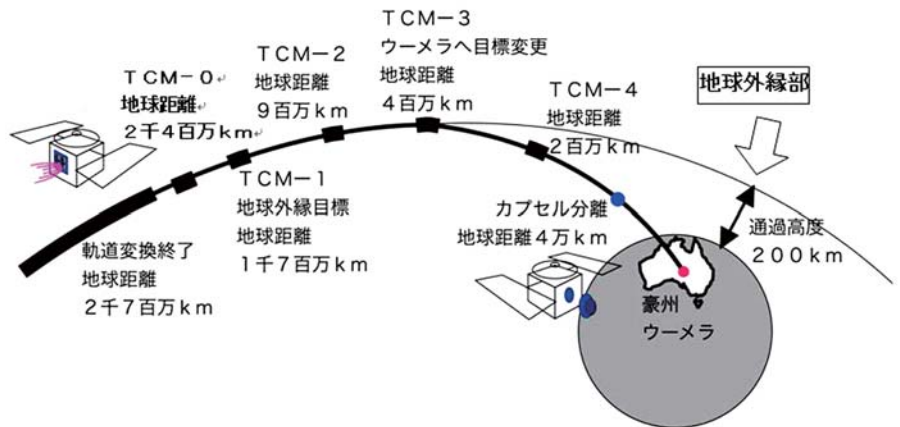
「はやぶさ」が帰ってくる

昨年夏、プラネタリウム投影「HAYABUSA - BACK TO THE EARTH」でご紹介した探査機「はやぶさ」が、いよいよ地球にもどってきます。

「はやぶさ」は2003年5月に打ち上げられました。1年後の2004年5月に地球に再接近しスウィングバイ（重力を利用して方向転換と加速をする技術）、2005年に目標の小惑星イトカワに到着しました。その後、イトカワに降下して表面物質を採取し、サンプルをつめたカプセルを地球に持ち帰る途についていました。

この間、トラブルが相次ぎ、姿勢制御装置、推進装置の一部、電源などが故障、スタッフによる懸命の努力によって奇跡的に運用を継続してきました。すでに燃料もほとんど尽き、カプセル回収計画の成否は、まだ予断を許しません。

地球への再突入は6月13日になる見込み(4月25日現在)で、カプセル着陸地はオーストラリア・ウーメラ砂漠に設定されています。これに向け5月中、数次にわたる進路変更作業が予定されています。「はやぶさ」の最後のチャレンジに注目しましょう。



宇宙航空研究開発機構 (JAXA) による

HAYABUSA

-BACK TO THE EARTH-

投影期間延長！ (6月6日まで)

小惑星探査機「はやぶさ」の道のりを紹介した感動の大作です。当初5月2日までの予定でしたが、「はやぶさ」帰還にあわせ、6月6日まで期間延長して実施します。

投影日

(5月9日まで)

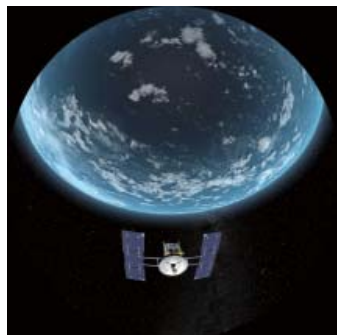
土日曜日 11:00、14:00

(5月15日～)

土曜日 14:00

日曜日 11:00、14:00

当初予定していた「月と太陽と地球」の投影はありませんのでご了承ください



幼児向けプラネタリウム投影

はやぶさ

とちさな星

に

おでかけ



投影日：5月15日(土)～7月10日(土)の土曜日

投影時間：午前11時

観覧料：100円 (中学生以下無料)

*土曜日午前11時のプラネタリウム投影を、上の内容に変更して実施します。

寄贈品コーナー 新着資料展

5月1日(土)~6月6日(日) 自然部門

生物・地質・天文分野で、昨年度一年間に寄贈を受けたり採集したりして新たに加わった博物館資料を公開します。

生物分野では、セッカの巣、ヒヨドリの巣、オウサマペンギンのはく製、守矢淳一コレクション（植物）、石綿進一コレクション（カゲロウ）を展示します。守矢淳一氏は平塚市内の小学校で教鞭をとりながら、平塚市内の植物調査を続けて来られました。当博物館準備室時代には調査委員として、その後も多くのお力添えをいただきました。残念ながら、昨年10月に90歳でご逝去され、ご自宅で保管されていた植物標本がご遺族より寄贈されました。守矢氏は平塚市の植物調査の先駆者で、その記録や標本は平塚市の自然を考えるとときの基礎になっています。



その他、地質分野では、地盤のボーリング標本、相模湾海底地形図、地質寄贈図書などを展示します。

▲セッカ 矢嶋興一氏撮影

新刊 NEWS

◆◆ 平塚市博物館調査研究報告『自然と文化』第33号を刊行 ◆◆

下記の報文を掲載しています。ご希望の方は博物館受付でお求めください（価格 1050 円）

- ・高橋直樹・荒井章司
神奈川県大磯町西小磯海岸の三浦層群大磯層から蛇紋岩礫の産出一環伊豆地塊蛇紋岩帯構成要素の可能性一
- ・鷹宏道・澤村泰彦 2009年の太陽黒点
- ・鷹宏道・澤村泰彦 太陽黒点第23活動周期の概要
- ・西川武臣 平成21年度秋期特別展記念講演録 近世の相模川・相模湾水運一津久井・須賀・柳島・神奈川一
- ・早田旅人 相州六所神社鑰取役出縄主水・懲胡隊と戊辰戦争一白川家配下神職の草莽隊運動一
- ・早田旅人 【史料紹介】相模国大住郡須賀村廻船関係史料一浦田弘家文書

5月の行事 参加者募集

申込制行事（事前に往復はがきでお申し込みください）

- 自然教室
「里山の休耕田の生きもの調べ その1 植物」
同じテーマで9月4日にクモ、10月2日に昆虫を調べる予定です。今回は植物を調べます。
日 時：5月22日（土）午前9時～午後3時
場 所：土屋地区
申 込：往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込
締 切：5月14日まで
定 員：15人（多数の場合抽選）
その他：小学生は保護者同伴のこと
- 平塚の遺跡を歩く
「岡崎地区の遺跡」
岡崎城跡ほか、岡崎地区の遺跡を歩きます。
日 時：5月29日（土）午前10時～午後3時頃
対 象：一般
申 込：往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込
締 切：5月21日まで

自由参加行事（事前申込は不要、自由に参加できます）

- ろばたばなし
民家のいろいろばたで昔話を聞いてみませんか。
日 時：5月16日（日）
(1)午後1時20分～ (2)午後3時～
場 所：展示室1F 民家「相模の家」
- プラネタリウムで星座のソムリエになろう
日 時：5月16日（日）午前9時15分～午前10時
場 所：プラネタリウム
対 象：中学生以下

5月

1	土	地質調査会	野外
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
7	金		
8	土		
9	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂
10	月	休 館	日
11	火		
12	水		
13	木	石仏を調べる会	上古沢
14	金	古文書講読会	講堂
15	土	古代生活実験室	科学教室
		相模川の生い立ちを探る会	葉山町
		星まつりを調べる会	特別研究室
16	日	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
		◎ろばたばなし	相模の家
		◎プラネタリウムで星座のソムリエになろう	プラネタリウム
17	月	休 館	日
18	火		
19	水	民俗探訪会	小田原市
		裏打ちの会	科学教室
20	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
21	金	古文書講読会	講堂
22	土	お囃子研究会	講堂
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
		地域史研究ゼミ	特別研究室
		天体観察会	博物館屋上
		○自然教室「里山休耕田の生きもの調べ」	土屋
23	日	地質調査会	科学教室
24	月	休 館	日
25	火		
26	水		
27	木	石仏を調べる会	特別研究室
28	金	古文書講読会	講堂
29	土	地質調査会	野外
		○平塚の遺跡を歩く「岡崎地区の遺跡」	岡崎
30	日		
31	月	休 館	日

プラネタリウム

☆「HAYABUSA - BACK TO THE EARTH -」

6月に地球へ帰還予定の小惑星探査機「はやぶさ」がたどる過酷でスリリングな物語を全天デジタル映像でご覧いただけます。

期 間：6月6日(日)までの土・日曜日

時 間：午前11時と午後2時

(5月15日からの土曜日は午後2時のみ投影)

☆幼児向け投影「はやぶさとちいさな星におでかけ」

期 間：5月15日(土)～7月10日(土)の土曜日

時 間：午前11時

プラネタリウム利用案内

観覧料：100円(中学生以下無料)

定 員：86名

6月

1	火				
2	水				
3	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室	新着資料展 HAYABUSA	幼児向け投影
4	金	古文書講読会	講堂		
5	土				
6	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂		
		地質調査会	野外		
7	月	休 館	日		
8	火	燻			
9	水	蒸			
10	木	に	石仏を調べる会	土屋	
11	金	休			
12	土	に	相模川の生い立ちを探る会	真鶴三崎	
13	日	休			
14	月	休			
15	火	休			
16	水	民俗探訪会	真鶴町		
		展示解説ボランティアの会			
17	木	休			
18	金	休			
19	土	お囃子研究会	講堂	新着資料展 HAYABUSA - BACK TO THE EARTH	はやぶさとちいさな星におでかけ 5/15～7/10
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
		地域史研究ゼミ	特別研究室		
		○自然教室	野外		
20	日	星まつりを調べる会	特別研究室		
		地質調査会	科学教室		
		◎ろばたばなし	相模の家		
		◎プラネタリウムで星座のソムリエになろう	プラネタリウム		
21	月	休 館	日		
22	火				
23	水				
24	木	石仏を調べる会	特別研究室		
		古文書講読会	講堂		
25	金	古代生活実験室	科学教室		
		天体観察会	博物館屋上		
26	土	◎星を見る会	博物館屋上		
		水辺の楽校生きもの調べの会	野外		
27	日	休 館	日		
28	月	休 館	日		
29	火				
30	水	休 館	日		

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

特別展示

☆春期特別展「検証 相模国府 - 古代都市復元への挑戦 -」

期 間：5月9日(日)まで

場 所：特別展示室

寄贈品コーナー 情報コーナー

☆寄贈品コーナー「新着資料展 - 自然部門」

期 間：5月1日(土)～6月6日(日)

場 所：平塚市博物館 1階寄贈品コーナー

☆情報コーナー「わがまちの魅力再発見！」

防災の視点で行なっている活動の様子を紹介します。

期 間：5月8日(土)まで

場 所：平塚市博物館 2階情報コーナー

主 催：ひらつか防災まちづくりの会

あなたと博物館 38巻2号 通算401号 発行 平塚市博物館 2100
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
 E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/